

復活節  
説教

# 言われたとおり復活なされた

<マタイによる福音書28：1~15>

朴 榮 喆 牧師 (対馬めぐみ伝道所)



復活節は、初代教会から守られてきたキリスト教会で最も重要な日です。その理由は復活がキリスト教の信仰の中心だからです。カールバルトという有名な神学者は「復活」というこの一言にキリスト教全体の運命がかかっていると言いました。復活こそ人間の運命を完全に変えるターニングポイントになるということです。そうです復活こそ裁きから恵に変わる時であり、死から命に移される時であり、あらゆる状況から「いいえ」を「はい」に変える、望みのスイッチなのです。もし復活の真理がキリスト教に無いなら、キリスト教はもはや希望のある宗教ではなくなるでしょう。復活がなければ、私たちの信仰も無駄であり、依然として私たちは絶望と罪の中で挫折していたでしょう。(コリント15:14~19) それだけでなく、復活はすべての倫理、道徳の基盤であり、すべての人生の根拠であります。

最近ではキリスト教に対する不信社会や他宗教からの態度が変わりました。今はもはやイエスの存在を否定しません。聖書の奇跡も否定しません。ただイエスキリストを相対化します。イエスを認めるので、自分たちも認めてほしいと言います。山登りの道は一通りではないはずだ、と主張します。何を信じようが正しく生き、努力すれば、天国にも極楽にも行け、神仙にもなれ、永遠の世界にたどりつけると言います。そのためキリスト教だけを主張するのではなく、一緒に手をつないで仲良く過ごそうと言います。正しいように聞こえます。信仰のない人が聞くと、唯一の神にこだわり、自分たちにだけ救いがあると主張するキリスト教が独善的です。閉鎖的で包容力がないように聞こえます。しかし、彼らには乗り越えられない線があります。不信社会と他宗教がいくら真似しようともできない、その宗教の始祖や教主たちが死んで墓を残した、世の中のすべての宗教が克服できないことがあります。それが復活です。なぜイエスキリストだけが道なのですか? まことであり命であり、なぜイエスだけが答えなのか? それを最も明らかに表わしているのが復活なのです。

安息日の後、週の初めの日の明け方、マグダラのマリアともう一人のマリアがイエス様の墓を見に行きます。そこで墓の石を転がし、その上に座った天使を見ます。墓を守っていた者たちは恐ろしさに震えあがり死人のようになりました。この御言葉は気を失ったという意味でもあります。この時、天使が婦人たちに言います。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを探しているのだろうか、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なされたのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。それから、急いで行って弟子たちにこのことを告げなさい」婦人たちは恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行きます。するとこの時、復活なされたイエス様が婦人たちの前に現れ「平安あれ」と言われました。女たちは慌ててイエス様の足を抱き、その前にひれ伏します。するとイエスはこう言われました。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる」

これが復活の朝、イエス様の復活を世の中で初めて目にした婦人たちの経験です。この場面から私たちは貴重な教訓を得ます。復活の最初の目撃者であり、証人である婦人たちに天使とイエス様は三つのことを命じます。

## (1) 主の復活を「信じなさい」

婦人たちは生まれて初めて経験したこのことに、恐れ震え上がるしかありませんでした。あまりにも怖く、番兵たちは死人のように気を

失ってしまいました。「夢か現実か」区別がつかなかったでしょう。そのため天使は婦人たちに以前イエス様が言われた御言葉と約束を思い出させ、空の墓を見せます。そして、「かねて言われていたとおり復活なされた」と主の復活を信じなさいと言ったのです。

皆さんは信仰生活で何を信じていますか? 使徒信条の内容をアメンと信仰告白していますか? 復活の知らせを伝えた天使は、はっきりと婦人たちに知らせました。「かねて言われていたとおり復活なされた」私たちが信じるべきことは、まさにこの主の御言葉です。主の約束です。「はっきり言っておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。」(ヨハネによる福音書5:24) 主の復活を信じるということは、すなわち主の言葉を信じるということです。

## (2) 主の復活を「伝えなさい」

イエス様が復活を信じる人々に与えられた最初の使命は、その事実を伝えることです。「急いで行って弟子たちにこう告げなさい」これが復活を最初に見た人々へ与えられた主の使命でした。私たちが本当に復活の信仰を持っているなら、私たちの最初の使命はこの驚くべき祝福の知らせを世の中に伝えることです。復活の知らせを聞いた婦人たちは「恐れながらも大いに喜び」弟子たちにこの事を知らせるために走って行きました。実際、私たちは復活した主を直接この目で確認することはできません。しかし、主はこのことを知ったうえで私たちを慰めながらこう言われます。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである」(ヨハネによる福音書20:29) 復活の朝、主は言われます。「信じる者たちよ、主の復活を伝えなさい! 御言葉を信じて頼り、時が良くても悪くても、地の果てまで福音を伝えなさい!」

## (3) 主の復活を「喜びなさい」

復活されたイエス様が復活を伝えるために走り出す婦人たちの前に現れて言われました。「平安あれ (カイレテ)」この言葉は「平安」と訳されていますが、普段イスラエルの人々が挨拶する時に使う「シャローム」とは別の言葉です。この言葉は直訳すると「喜ぶ」という意味です。復活の知らせを伝えるため墓から走り出す婦人たちに、主は「喜びなさい」と言います。ここで私たちが知ることは、主の御言葉を信じて頼り歩む主の子に、主はまことの喜びを宣言されるということです。もともと、まことの平安なしに、どうやってまことの喜びを得ることができましょうか?

みなさんは世の中のどこにまことの喜びと平安があると思いますか? 世の中のあらゆるものが人々に一時的な満足や楽しみを与えることができるかも知れませんが、しかしお金で決して買えないまことの喜びと平安はただ主から与えられるものなのです。「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心騒がせるな。おびえるな」(ヨハネ14:27) 復活の朝、主は私たちに「喜びなさい」と言われます。主の言葉を信じて頼り復活を信じるその民にまことの喜びと平安が与えられます。

愛する信徒のみなさん、この恵まれた復活の朝、死の中から復活された主を私たちが信じます。私たちが将来復活するという確信をもって、主が命じられたとおり主の復活を力をつくして伝え、喜び、主の復活に参加する者となりましょう。アメン!

## 海外韓国人教会の教育と牧会協議会 第14回 済州大会開催

私たちの総会が会員教団として参加し、世界に散らされているディアスポラ韓国人教会の次世代の教育と牧会のあり方をテーマとして神学と実践を分かち合い共有する場としての、第14回「海外韓国人教会の教育と牧会協議会」大会が、去る2023年2月15日～17日、韓国済州島で開かれた。60名近い参加者のなか、KCCJからは中江洋一総会長、趙永哲宣教委員長はじめとし15名が参加した。

「ディアスポラ Homecoming！」という主題で、林亨泉牧師(蚕室教会)を講師に招き主題講義、鄭丙準教授(ソウル長神大)による「ディアスポラ教会と韓国教会」というテーマの発題、韓半島の和解と平和のために」という発題がなされた。また、アメリカ、カナダ、オーストラリア、日本、韓国の教会や社会がおかれている現状と課題そして未来への展望について、朱成塩牧師(PCUSA)、金光哲牧師(KPCA)、金迅野牧師(KCCJ)、朴吉永牧師(UCA)、朴孝真牧師(PCC)、尹マテ牧師(PCK)がそれぞれ発題をおこなった。

特別講演としては森林教育専門家であり、森の解説家として地元の済州で活動している鄭東洛牧師が「植えられたところでは花を咲かせよう-気候」というテーマで行われた。

水曜礼拝は、済光教会で行われ、最終日の朝の祈禱会では中江洋一総会長が説教をおこなった。城内教会で行われた閉会礼拝では、趙永哲牧師の司式による聖餐式がおこなわれた。最終日のフィールドワークでは、済州島における宣教の足跡をたどるとともに、植民地の痕跡を残す遺跡なども訪れた。

最終日に発表された「宣言文」においては、さまざまな課題をともに乗り越えて行くための道筋をつけるために協働していくことなかで、日本におけるヘイトスピーチへの抗いと、2023年に100周年を迎える関東大震災における朝鮮人虐殺の暴力を覚えるとともに平和を希求することが確認された。

原則として2年ごとに地域を変えて開かれる次の15回大会は、2025年に行われることとなった。(教育委員長 金迅野牧師)



## 2023年度 総会神学生・宣教師 Zoom研修会を開催

2023年度総会神学生と総会加入宣教師の研修会が、2月29日主日の夕方から3月4日(土)まで、今回もZoom研修会として行われ宣教師2名が参加した。

教育科目としては、在日大韓基督教会の神学と宣教理念、歴史、憲法と規則、在日同胞や在日大韓基督教会の歴史、日本のキリスト教会の神学、教会史、異端宗教、エキュメニカル神学、在日大韓基督教会における牧会、儀式と礼典などが講義された。

今回の研修会に参加した宣教師は、仙台教会が請聘する馬榮烈牧師(大韓イエス教長老会、合同)、東京第一教会が請聘する姜英珍牧師(大韓イエス教長老会、合同)であった。

全国女性会

## 第24回聖書セミナー開催 「主に接ぎ木された者として」主題で

全国教会女性連合会教育局と関東地方教会女性連合会の共催で、第24回聖書セミナーが2023年2月23日(木)から24日(金)まで、東京教会にて開催された(参加82名)。

講師として蔡銀淑牧師(大垣教会)を迎え、「主に接ぎ木された者として～御言葉に堅く立ち～」という主題で2回のセミナーが持たれた。

1日目は御言葉に対する誤った理解と正しい理解について、2日目はキリスト教史の恥である奴隷制擁護と白人優越主義について学んだ。この学びをもとにグループに分かれて意見交換がなされ、全体での分かち合いの時間が持たれた。恵みに満ちた学びの時間であり、得られた気づきはとても多かった。

夕食後の親睦会ではみな大いに盛り上がり、笑いと喜びに満ち溢れた実に楽しい時間となった。

開会礼拝説教は郭恩珠牧師(センムル教会)「見做う信仰」、閉会礼拝は金必順牧師(歴代総務)「因果応報ではなく、悔い改め」として御言葉が述べ伝えられた。

2日目朝には李銀珠勳士(関東副会長)司会による祈禱会があり、関東所属教会の紹介と祈禱課題が共有され、熱い祈りの時間となった。

3年ぶりの対面式開催となった今回の聖書セミナーは、親睦会も含め、ライブでの恵みはやはり最高だった。

(報告 関東地方女性会副会長 李銀珠)



東京教会ば

## 金清坤牧師委任式挙行 大韓イエス教長老会総会から派遣



2023年3月19日主日の午後、つくば東京教会において新しく赴任された金清坤牧師の委任式が行われた。

臨時堂会長の曹泳石牧師の司会により開会礼拝が始まり、姜章植牧師(品川教会)による「わたしは主、あなたの神」(イザヤ43:1～7)という説教がなされた。

牧師委任式は関東地方会長の李明忠牧師の司式のもとで進み、紹介、誓約、宣布の順に行われた。

祝賀メッセージとして韓国の後援教会であるガナアン教会の張敬徳牧師の映像による祝賀メッセージも紹介された。

この度、関東地方会からつくば東京教会の牧会を委任された金清坤牧師は、1976年韓国で生まれ、弘益大学の電磁工学科卒業後、長老会神学大学院神学大学院及び大学院を卒業し、2010年大韓イエス教長老会(PCK)において牧師按手を受けられた。ソウル近郊のガナアン教会の副牧師の時、2020年の暮れに大韓イエス教長老会総会から日本宣教師として派遣され2021年1月から横浜教会の協力牧師として務めた。

家族は、金賢美夫人と子ども2人がある。

# 神学考試委がセミナー開催 牧師接手までの過程を海外4教派から学ぶ

2月27日(月)19時、オンラインセミナー「牧師接手まで、召命、選抜、養成、支援」(神学考試委員会主催)が開かれ、57名がweb上で一堂に会した。内容は、海外の諸教派の講師より、献身者が牧師接手に至るまでの過程について聞くものである。

講師はアメリカ長老教会(PCUSA)韓明聖牧師、オーストラリア合同教会(UCA)張基洙牧師、ニュージーランド長老教会(PCNZ)韓敬均牧師、合同メソジスト教会(UMC)張学淳牧師の4名。

各教団では一人が献身を表明した時から、この「牧師候補生」を教区の委員会などを通して、段階的に手厚くサポートする体制が整えられている。共通しているのは、本人の召命を確認する作業が繰り返されること。人材不足の中「来るものは拒まず」になりがちな現状への再考の必要を感じた。

PCUSAでは神学校入学後、候補生としての訓練やケアを受ける。学科以外のフィールドワークとして、教会奉仕が1学期、病院でのチャプレン研修が1学期課せられる。牧師試験(考試)は①聖書(客観式)②説教③神学④憲法⑤礼拝と聖礼典があり、一度に5科目に合格する人は稀なほど、厳しいという。

UCAにおいては実に、献身を志した瞬間から18段階に渡る過程が定められている。1年間をかけて担任牧師と、例えば宣教旅行や牧会研修(葬儀や病床訪問などに同行)、聖書の学び方などの計画を立て、召命を確かめながら歩む。接手までに配偶者を含む2度の面談がある(教区委員と精神科医同席)。候補生には2人の委員がついて、在学中ずっとサポート。詳細なレポート提出の義務があり、本人についての十分な理解と資料があるため、牧師試験は行わない。

PCNZでは候補生には2泊3日の研修会への出席を求め、この間に教区の委員と精神科医による面接があり、通過しなければ神学校に入学することは出来ない。試験はなく、学問を深めることよりも牧会運用に重点置かれている。接手に先立ち「牧会者インターン」として生活費を受け取りながら訓練を受ける期間が2年間あり、3人のメンターがつく。

UMCは、他教派にない制度的な特徴が印象的だ。牧師には大きく分けて3種類あり、①長老牧師②執事牧師③牧師資格をもつローカル牧師。①以外聖礼典は行えない。②③はそれぞれ他の職業を持つ人がほとんどで、教団に謝儀の責任はない。③は年に何週間かの教育を5年に渡って受ける。

また出席者から、牧師のメンタルケアについての質問があり、以下のような各教派の取り組みが紹介された。

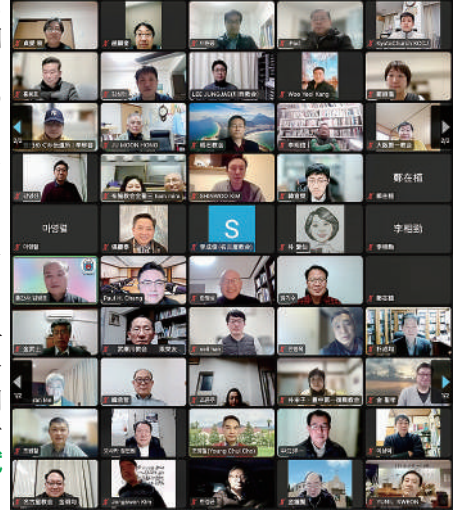
不調があれば教区にSOSを出すと、休養の手配や心理プログラムなどが準備される。種々のハラスメントを予防のため、年



韓明聖牧師 張基洙牧師 韓敬均牧師 張学淳牧師

に1度のバウンダリートレーニング(境界線を引く訓練)がある。教区牧師制度(引退牧師などが担当する牧師の牧師)がある。牧会者の継続教育、倫理教育への出席が義務化されている。スーパービジョン制度があり、ひと月に一度、心のうちを話すことが出来、費用は教会が必ず負担することになっている。牧会者サポート制度があり、教会の問題の相談のみならず、福祉、健康、経済、家族のケアもする。

聞くだけで羨ましい限りという、様々な制度について知ることが出来た。差し当たって改革出来ることは何だろうか。各教派の歴史と人材の層の厚さを実感する内容に、大いに刺激されたセミナーであった。(神学考試委員長 朴栄子牧師)



## 青年会全協

# 創立60周年を迎える 11月に創立60周年記念大会予定

青年会全国協議会(全協)は昨年9月総会を経て新体制となり、新役員は代表:嚴智用(横浜)、総務:鄭東鎬(大阪)、書記:東海菜月(川崎)、会計:尹洪一(京都)、事業部長:韓宣榮伝道師(大阪)の5名が務める。

全協では慢性的に続く青年の教会離れや活動停滞など深刻な危機克服のため、組織の起死回生をかけて2023年の活動計画の柱を「全協創立60周年記念行事」(11月3日に記念大会予定)に取り組むことが決定している。

同時に青年会活性化の一環で実施するのが全国教会訪問である。3月は関西地方会、4月は関東地方会、5月は西南地方会、6月は中部地方会、7月は西部地方会、と全協が各地方会・個教会訪問をして、創立60周年記念行事の協力要請をはじめ全国の青年の掘り起こしに取り組む。また8月には数年ぶりに全国修養会開催を準備している。

これらの訪問や各行事を通して全協は青年の出会いとつながりを強め、神様に与えられた生命と人生を輝かすための「神様の家」としての青年会の再生をめざしていく。全国の諸教会の皆様にはぜひとも新生全協の取り組みにご理解ご協力、お祈りをお願いしたい。(報告:梁陽日信徒委員長)



## 5地方会の定期総会案内

### <関東地方会 第74回 定期総会>

- ・日時:2023年4月29日(土)10:30
- ・場所:東京教会  
東京都新宿区若宮町24、TEL03-3260-8891

### <中部地方会 第60回 定期総会>

- ・日時:2023年5月4日(木)13:00
- ・場所:豊田めぐみ伝道所  
豊田市保見町南山275-1、TEL0565-48-2551

### <関西地方会 第74回 定期総会>

- ・日時:2023年5月5日(金)10:00
- ・場所:大阪北部教会  
大阪市北区本庄2-11-6、TEL06-6371-1914

### <西部地方会 第39回 定期総会>

- ・日時:2023年4月29日(土)10:30
- ・場所:神戸東部教会  
神戸市中央区日暮通6-4-8 TEL078-241-5253

### <西南地方会 第73回 定期総会>

- ・日時:2023年5月5日(金)10:30
- ・場所:福岡教会 福岡市博多区千代5-11-48、TEL092-641-9551

## 特別連載 2

# 1923ジェノサイドの記憶と十字架の信仰(2)

## —関東大震災朝鮮人虐殺100周年を迎え—

金性済 牧師(日本キリスト教協議会総幹事)

1923年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が東京をはじめ、関東地方を襲った。その日午後になると、どこからともなく、「不逞鮮人」が暴動を起こし、放火し、襲ってくる、また、井戸に毒を投げ入れている、という流言飛語が広がり始めた。そして、官憲による朝鮮人拘束、また自警団による朝鮮人虐殺が1日夜から始まった。翌2日には、内務省は戒厳令を発令し、軍隊を出动させることになった。さらに同日、内務省は流言飛語を事実確認もしないまま事実であるという前提で、「不逞鮮人」来襲に備えることを、全国地方長官に電文で通達した。この戒厳令と電文とは、軍隊と官憲による朝鮮人虐殺のみならず、すでに起こり始めていた自警団による虐殺行為に対して、火に油を注ぐような、「天下晴れての人殺し」(法にとがめられることなく、正々堂々と人を殺せる)という朝鮮人虐殺行為にお墨付きを与える結果をもたらした。つまり、朝鮮人殺しを、自分の愛する国と暮らしの町の「安寧」を守るための手柄のように考えさせる事態に至ったのである。

よく知られていることとして、当時、自警団は自分たちの街角の至る所に検問所を設けて、だれが朝鮮人で、そうでないかを確認するために、朝鮮人が濁音で正確に発音しにくい「十五円五十銭」や、教育勅語の暗唱、また歴代天皇の名前を言わせたりして、できなければ「不逞鮮人」とみなし、その場で竹やり、日本刀、また鳶(とび)口などで惨殺した。

虐殺は、一般的には9月1日から6日まで続いた。千葉県習志野駐屯騎兵隊は習志野収容所に拘束されていた朝鮮人を周辺の村の農民たちに渡し殺させたのが、9月7日から9日までと記録されている。

自警団には次のような4つのタイプがあったと、歴史研究家は指摘する：①震災以前から町の夜警団としてあった組織が流言を聞き、朝鮮人を探し虐殺する自警団に変わる；②官憲が流布した流言を聞くことを契機に朝鮮人を制圧するための自警団が新たに組織される；③官憲の命令で自警団が結成される；④以前からあった地域の町内会や組合が連合して自警団を結成する、と分類される。自警団を構成していた人々とは主に、在郷軍人会分会(帝国在郷軍人会<1910年創立>の下部組織)、消防隊、また青年団を背景としていたといわれている。またさらに、自警団の構成の基礎には、それぞれの町の、都市中間層に属し、地域社会で実権を握っていた「旦那衆」の存在と、それに誘導される都市貧民階層の人々(人夫、職人ら)があったと歴史研究家は指摘する(松尾章一『関東大震災と戒厳令』、今井清一他『歴史の真実 関東大震災と朝鮮人虐殺』)。自警団は、東京に1,593個、また関東全域で3,689個も存在した(吉川光貞『関東大震災の治安回顧』)。愛知県、長野県、また新潟県にも自警団は存在した。

虐殺された朝鮮人の数についての調査活動は、10月に入ると本格化した。まず、崔承万在日朝鮮YMCA総務(『新東亜』1970年2—3月号)、吉野作造(『朝鮮人虐殺事件』『中央公論』1923年12月号)らの調査があるが、関東全域(東京、埼玉、千葉、栃木、群馬、茨木、神奈川)にわたる包括的な調査については在日本関東地方罹災同胞慰問班の「最終報告」(上海臨時政府機関紙『独立新聞』1923年12月5日付)がある。歴史研究家、山田昭次は、その最終報告での14名の計算違いに修正を加え、

6,647人と数えている。

10月から始まった追悼と真相調査作業に対しては、当局は公式には許可を与えず、忍耐強い調査活動について徹底して妨害した。たとえば、虐殺遺体の人数がわからなくなるように処理せよという指示を自警団に出したり、調査されようとする遺体を調査団が駆けつける前に掘り返し、持ち去ったり、遺体の引き渡しを拒否したりした。

国家と社会の仕組みが敵意と憎悪、そして蔑視を充満させた「不逞鮮人」という差別語によって一度暴走を始めてしまったら、個人や一つの組織の良心は全く無力となり、その善意の行動は自分に返って来る禍を覚悟するほかないのだろう。9月6日に埼玉県寄居警察分署内で具學泳青年を惨殺したのは、彼と親しく暮らしていた寄居町民ではなく、隣の用土町から押しかけて来た自警団であった(『かくされていた歴史—関東大震災と埼玉の朝鮮人虐殺事件—』)。山田昭次は、二人の朝鮮人を守った千葉県東葛飾郡法典村(現船橋市)丸山部落の農民たちと、埼玉県児玉郡本庄町の製糸工場主の事例を著書の中で紹介する(『関東大震災時の朝鮮人虐殺とその後』)。虐殺の狂気に呑み込まれず、人間の良心と理性に従う行動に踏み切れた事例に共通することは、普段からの温かい人間的交流という背景であったと、山田昭次は著書の中で指摘する。日韓のキリスト教会はここから何を学ぶべきか。

2017年3月2日に古賀俊昭東京都議が虐殺人数に客観的根拠はないから追悼文はやめるべきことを議会で主張したのち、同年8月25日に小池百合子東京都知事は、朝鮮人虐殺記念追悼集会に、1973年以来毎年都知事が送ってきた追悼文の発出を、拒否することを発表。いかなる理由であれ、亡くなった人々を同等に扱いたいという理由である。それは今日にまで至っている。

自然災害による死と、虐殺による死を同等に扱う?・・・人間としての感性と良心が疑われるばかりでなく、そのような都知事の行動に沈黙し、するがままに黙認する社会の有様について、キリスト教会はどう向き合うのか、問われていることを祈りの内に覚えたい。

あの虐殺の事実を当時の人々はどうのように証言しているか、次に見ていきたい。



【自警団】姜徳相・琴秉洞『現代史資料6 関東大震災と朝鮮人』みすず書房 1972年、所収